

南アルプス市の子育て支援

母子健康手帳の交付に始まり、マタニティスクール・新生児訪問・児童手当・医療費助成・一時預かり・各種相談など…。南アルプス市では、子育て中の家族の暮らしと子どもたちの健やかな成長をサポートするたくさんのサービスを行っています。

妊娠がわかったら

●母子健康手帳交付

病院で妊娠がわかたらすぐに交付を受けることができます。交付場所は健康福祉センター。毎週水曜の9:00～11:00に交付しています(相談日に都合がつかない場合には連絡を)。

持ち物=印鑑・マイナンバーor通知カード

●妊婦一般健康診査受診票等交付

医療機関で妊婦健診を受ける費用を補助します。母子健康手帳と一緒に交付。

●妊娠・出産などに関するパンフレット配布

赤ちゃんの食事・予防接種・市のサービスなどに関するパンフレットを母子健康手帳と一緒にお渡しします。

●妊婦健康相談

毎週水曜が相談日です。母子健康手帳交付会場にて、保健師等が対応します。電話相談は随時可能です。必要に応じて自宅への訪問も行います。

●マタニティスクール (P.54 参照)

赤ちゃんが生まれたら

●出生届

生まれてから14日以内に手続きを行ってください。市役所本庁舎および各支所窓口サービスセンターで手続きができます。出生届と同時に様々な支援サービスの手続きもできます。

持ち物=母子健康手帳・健康保険証・印鑑・振込口座番号がわかるもの

●乳児一般健康診査受診票交付(2回分)

医療機関で乳児(1歳未満)健診を受けることができます。出生届と同時にお渡しします。

●健やかな子育てに関するパンフレット配布

子どもの発達・予防接種・危険防止などに関するパンフレットを出生届と同時にお渡しします。

その他、以下の各種手続きは出生届と同時にできます。

●出産育児一時金支給

●乳児用おむつ用品支給 (P.54 参照)

●児童手当・子ども医療費助成

●チャイルドシート・ベビーベッド貸出 (P.56 参照)

お
問
い
合
わ
せ

●健康増進課	TEL. 055-284-6000
●子育て支援課	TEL. 055-282-7293
●戸籍市民課	TEL. 055-282-6094
●国保年金課	TEL. 055-282-7248
●教育委員会学校教育課	TEL. 055-282-7776

乳幼児期のサービス

- 産婦・新生児・乳幼児健康相談
毎週水曜が相談日です。母子手帳交付会場にて、保健師等が対応します。電話相談は随時可能です。
- 産後の産婦訪問 (P.54 参照)
- 産後ケア事業 (P.55 参照)
- 乳幼児健診 (P.56 参照)
- 2歳児歯科健診
- 離乳食教室 (P.56 参照)
- 子育て支援センター (P.6~11 参照)
- ファミリーサポートセンター (P.57 参照)
- 一時預かり (P.57 参照)
- 病後児保育 (P.57 参照)
- ホームスタート (P.55 参照)
- 子育て応援講座 (P.58 参照)
- やまなし子育て応援カード (P.62 参照) など

幼児～高校生を応援するサービス

- 子どもおよび保護者の健康相談・子育て相談
電話相談を随時行っています。
- 食に関する教室
親子料理教室を年数回行っています。
- 保育所・幼稚園 (P.63 参照)
- 小学校 (P.64 参照)
- 放課後児童クラブ (P.65 参照)

●予防接種

子どもを対象とした定期予防接種については、健康増進課が毎年春に発行する「健康づくり日程表」を参考にしてください。

マタニティスクール

またにいてすくーる



↑会場はいつでも南アルプス市健康福祉センター(かがやきセンター)で参加費無料(マタニティカフェは300円)。お問い合わせは TEL055-284-6000 (健康増進課)。

管理栄養士や保健師が食事や栄養に関する講座を開くマタニティカフェ。妊婦疑似体験・沐浴指導・先輩ママやパパとの交流などを行うパパママ学級。妊婦さんに大切な食事について学び、調理実習も行うマタニティキッチン。助産師・保健師が骨盤や母乳のケアなどを指導するプレママ教室。

妊婦さんとその家族を対象に、4つの講座を行います。日程等は健康増進課作成の「健康づくり日程表」(P.58参照)にてお知らせしています。

乳児用おむつ用品支給事業

にゅうじょうおむつようひんしえんじぎょう

子育て中の家族に「おむつ引換券」を交付し、おむつ用品(紙おむつ・布おむつ・おむつカバー・おむつライナー・おしりふきなど)の購入を補助しています。1ヵ月2000円を上限とし、出生月の翌月から1歳になる月までの12ヵ月間交付します。

市が指定したドラッグストアやコンビニエンスストアなどで利用できます。利用時にはおむつ引換券と子ども医療費助成金受給資格者証の提示が必要(おつりは出ません)。南アルプス市独自の子育て支援策として、市内のママ・パパから好評を得ている事業です。



↑お問い合わせは TEL055-284-6000 (健康増進課)。

産後の産婦訪問

さんごのさんぶほうもん



↑お問い合わせは TEL055-284-6000 (健康増進課)。必要に応じて、妊婦のいる家庭への訪問も行っています。

出産後から4ヵ月健診までの間に、保健師または助産師が家庭を訪問します。原則1回ですが、要望や状況に応じて複数回訪問することもあります。子どもを迎える新しい生活や親子関係が、よりスムーズに進められるようにと行っている子育て支援です。訪問時には、授乳指導・赤ちゃんの体重測定・ママの健康相談・育児相談などを行います。いざという時に頼れる地域の保健師や助産師との「つながり」を築くことも目的にしています。利用者の側から訪問をリクエストすることもできます。



産後ケア事業

さんごけあじぎょう



↑ ゆったり休養するのか、助産師に体をケアしてもらおうのか、何を中心に利用するのかは利用者とセンターのスタッフが相談して決めます。利用前に市の窓口等で申請が必要。お問い合わせは TEL055-284-6000 (健康増進課)。

出産後、育児不安や体の疲れを感じているママが対象(産後4ヵ月頃まで)。笛吹市にある産前産後ケアセンターに宿泊して休養をとったり、子育てのアドバイスを受けたりすることができます。3泊4日まで宿泊料を県と市が補助し、利用者負担は1泊2食6100円となっています。センターには助産師が常駐。授乳や沐浴の指導・おっぱいケア・育児相談など、心身両面からママをサポートし、同時に育児に関する様々な知恵や技術を伝えています。

山梨県で一番最初に南アルプス市が同センターへの「日帰りケア」の補助をスタートさせました(3000円+昼食代900円で利用できます)。

南アルプス市の子育て支援



ホームスタート

ほーむすたーと

研修を積んだホームビジター(ボランティア)が子育て中の家庭を訪問。利用者の要望に応じたサポートを行う子育て支援です。サポート内容は、一緒に公園や支援センターに遊びに行く、食事や離乳食を作る、ちょっとした相談に乗るなど、比較的気軽に頼める事柄が中心(家事の代行やベビーシッターは不可)。子育て支援のNPO法人あんふぁんねっとがコーディネート役を務め、利用者とはホームビジターの間に立って活動内容や訪問日程等を調整します。ホームビジターと親子が仲よくなって、地域でのつながりが広がっていくこともこの事業の目的の一つ。年1回、ホームビジター養成講座を開催しています。



↑ 利用対象は南アルプス市在住で未就学児を持つママ(パパ)。週1回2時間×4回の利用で、利用料は無料。子育て支援課から委託を受けて、あんふぁんねっとが事業運営をしています。お問い合わせは TEL055-269-7568 (あんふぁんねっと)。

乳幼児健診

にゅうようじけんしん



↑会場はいつでもかがやきセンター。決められた日程に都合がつかない場合は応相談。お問い合わせはTEL055-284-6000(健康増進課)。

生後4ヵ月・10ヵ月・1歳6ヵ月・2歳・3歳が対象。月齢別に日を決めて、月2回ほど行っています(日程は健康づくり日程表で告知)。内容は診察・体重測定・栄養相談・歯科相談・育児相談など。4ヵ月時には「ブックスタート」として、2冊の絵本をプレゼントしています。別に「乳児一般健康診査受診票」を交付しているので、1歳未満の赤ちゃんは医療機関で2回の乳児健診を受けることができます。

離乳食教室

りにゅうしょくきょうしつ

生後7ヵ月の赤ちゃんとお母さんを対象に行っています。毎月1回、かがやきセンターで開催。管理栄養士による離乳食のお話では、食材・回数・量・形態など、離乳食の進め方を具体的に伝えます。調理室では、野菜・白身魚・ささみなどの様々な食材を用いての調理実習。離乳食の量や固さを実体験しながら調理、そして試食も行います。赤ちゃんとお母さんを見守ってくれる地域の愛育班員も付き添います。

9～11ヵ月児むけの教室も年に4回行っています。



↑かがやきセンターで開催。お問い合わせはTEL055-284-6000(健康増進課)。

チャイルドシート・ベビーベッド貸出

ちやいるどしーと・べびーべっどかかしだし



↑お問い合わせはTEL055-282-7293(子育て支援課)。

利用期間の短い赤ちゃん用のチャイルドシートとベビーベッドを無料で貸し出しています。利用対象者は市内在住で1歳未満の赤ちゃんの保護者(出産予定1ヵ月前から借りることもできます)。本庁の子育て支援課、もしくは各支所窓口サービスセンターで申請することができます。チャイルドシート・ベビーベッドともに委託業者が各家庭までお届けします。子育て中の家族の経済負担軽減および交通安全のために行っている市のサービス。毎年200～300の家庭が利用しています。



一時預かり

いちじあずかり



↑お問い合わせ先は
白根保育所 TEL055-285-3603
豊保育所 TEL055-282-0189
大明保育所 TEL055-282-1307
マコト愛児園 TEL055-282-1510

仕事・就職活動・通院・冠婚葬祭・リフレッシュなど、様々な理由で一時的な保育が必要な場合、市内の4つの保育所（白根保育所・豊保育所・大明保育所・マコト愛児園）に子どもを預けることができます。利用対象は、保育所や幼稚園に通っていない未就学児。事前の登録が必要です。利用時間は平日8:30～16:30。1日の利用料金は4歳以上1300円、3歳1500円、3歳未満1800円（マコト愛児園の利用時間・料金は直接お問い合わせを）。詳細は各園までお問い合わせください。



ファミリーサポートセンター

ふぁみりーさぽーとせんたー

子育てを手助けしてほしい人（おねがい会員）と子育ての手助けをしたい人（まかせて会員）との間を結ぶ子育て支援事業です。子育て支援課が両者をコーディネートします。支援の内容は、子どもの預かり、園や塾への送迎など。利用料は1時間800円（土日祝日や夜間は1時間900円）で、うち200円を市が助成しています。おねがい会員の対象は生後3ヵ月～12歳の子どもの持つ親、まかせて会員の対象は講習を受けた18歳以上の方で、ともに事前登録が必要。現在、両方の会員登録を募集しています。



南アルプス市の子育て支援

↑お問い合わせはTEL055-282-7293（子育て支援課）。



病児・病後児保育

びょうじ・びょうごじほいく



↑平日8:30～17:30に利用できます。お問い合わせはこもれびクリニック TEL055-269-6070またはさくらんぼ保育園 TEL055-282-8111まで。

感染症や風邪などの病気のため、通常の園生活や学校生活が困難な子どもたちを預かる取り組みです。市内では、こもれびこどもクリニックの「病児保育室うらら」やさくらんぼ保育園の「病後児保育室つぼみ」などで実施（つぼみは病後児のみ）。市外の病児保育施設を利用することもできます。利用対象は園児およびおむね10歳までの小学生で、事前登録が必要。市民は利用料金1日2000円（課税状況に応じて0～2000円）、市外2500円。利用時には医師による診療情報提供書が必要。

子育て応援講座

こそだておうえんこうざ



↑毎年2回（5月と10月）開催。要項は市の広報、あるいは支援センターや図書館に置かれるチラシで告知します。お問い合わせはTEL055-269-7568（あんふぁんねっと）。

「完璧な親もいなければ、完璧な子どももない」。カナダ生まれの子育て中の親支援プログラム「ノーバディーズ・パーフェクト・プログラム」を行っています。安全・しつけ・ころこ・家族との関わりなどのテーマに沿ってグループトーク。参加者同士の話し合いの中で子育てについて学び合い、また親同士のつながりを深めることを目的にしています。託児付きの連続8回講座で、参加費は4000円。毎回のティータイムも参加者のお楽しみになっています。

健康づくり日程表

けんこうづくりについてひょう

健康増進課が年度ごとに製作。南アルプス市が行っている、市民の健康に関するサービスを紹介しています。妊娠から出産、乳幼児期のサービス、あるいは毎年のように変更がある定期予防接種の情報もわかりやすくまとめられています。子宮頸がん検診、乳がん検診、巡回検診や人間ドックなど、ママ・パパにとっても必要な大人の健康に関する情報も掲載しています。



↑お問い合わせはTEL055-284-6000（健康増進課）。

愛育会活動

あいいくかいかつどう



↑子育ての中で困ったことや気づいたことがありましたら近くの愛育班員さんにお声かけください。

南アルプス市の各地区には愛育会という組織があります。地域の誰もが健康で暮らせるように、ぬくもりを感じながら暮らせるように、行政と連携して活動している組織です。愛育会が日常の暮らしの中で一番大事にしている活動は声かけ・見守り。「こんにちは」と声をかけることが、健康で暮らしやすい地域を作っていく第一歩だと考えています。

また、離乳食教室での託児のお手伝い、健康フェスタでの虫歯予防の啓蒙（着ぐるみ劇）、地域独自の活動（ベビーマッサージ・ハイハイよちよち大会などの親子むけイベント）等も活発に行っています。

「いいね！南アルプスで子育て」



葵ママ・あやめ(1歳)

乳幼児健康相談で保健師さんや栄養士さんが子育ての相談に乗ってくれます。離乳食・睡眠・体のことなど、なんでも気軽に話すことができ、助かりました。予約なしで行けるのもいいところ。



**真理ママ・ひなみ(3歳)
はるたか(1歳)**

初めてのお産の後、産前産後ケアセンターを利用できたのがよかったです。母乳のことなど一通り教えてもらって、休息もとれました。そこで知り合ったママとは、今もママ友としてつながっています。



和ママ・よつば(11ヵ月)

千葉から甲府、そして南アルプスへと移住しました。スーパーなどがまとまっていて、車で一度に買い物できるのが意外と便利。そして富士山をこんなふうに毎日眺められるなんて最高！



紗智子ママ・ゆうと(1歳)

毎週水曜に、かがやきセンターで行っている健康相談がよかったです。1歳になる前は月1回ペースで行ってました。保健師・助産師・栄養士がいて、さまざまな相談に対応してくれます。



弥生ママ・さや(4ヵ月)

心身ともに大変だった産後3週間くらいのときに、保健師さんと助産師さんが訪問してくれました。パパも一緒にじっくり話を聞いたので、つらいときを夫婦でともに乗り越えた実感が持てました。



祐子ママ・かける(2歳)

おむつ券や子育てハンドブックなど、使い勝手がよくて他の市町村にはない取り組みに、子育て支援の手厚さを実感。健診のときも親身に話を聞いてくれるなど、市の職員の雰囲気もいいですね。

南アルプス市では、地震などの大規模災害時に備え、非常持出品の準備を呼びかけています。子育て中の家庭では、一般的な非常持出品に加えて、オムツやミルクなどの別の持出品が必要です。

子育て支援の専門家で、防災士の資格も持つ軽部妙子さんのアドバイスとともに、子育て中の家族の間で共有しておいてほしい防災情報を紹介します。



①災害時の非常持出品

飲料水・粉ミルク・哺乳瓶・哺乳瓶消毒剤・紙オムツ・お尻ふき・ウエットティッシュ・着替え・ガーゼのハンカチ・タオル・離乳食やベビーフードなどの食糧・子ども用のスプーンやフォーク・お気に入りのおもちゃ・母子健康手帳・お薬手帳・健康保険証・子ども医療費助成金受給資格者証など。

Q 災害時の非常持出品(①)として、どんなものを備えるとよいですか？

軽部 家庭に小さな子どもがいる場合、防災グッズも子どもとの被災生活を想定したものを備えることになるのですが、まずは普段のおでかけの際にマザーズバッグに入っているオムツ・ミルク・哺乳瓶・お尻ふき・着替え・タオル・母子手帳を準備してもらいたいです。

Q 他には？

軽部 それらに加えて、ビニール袋・マスク・ライトなど被災生活で役立つもの、あるいはチョコレートや飴など、大人も子どもも食べられるカロリーの高い食べ物も備えておくとういでしょう。準備するものは子どもの月齢や特性によっても違ってくるので、時々見直

すことも必要です。また、普段から外出時にペットボトル飲料を携帯したり、いつものマザーズバッグに小銭や飴などを入れておくなど、“いざというとき”を頭の片隅に意識しながら行動する習慣ができるとういでしょう。

ダンゴムシのポーズ

Q 防災グッズ以外に準備しておくことは？

軽部 子どもが園に行っているときは？パパが仕事で遅いときは？…いろいろなケースを想定しておいて、災害時の待ち合わせ場所を複数決めておくなど、家族の約束事を決めておくのが大事です。

Q 災害が起きたその瞬間、子どもを守るためには？



②家具の転倒防止グッズ
タンス・冷蔵庫などの大型家具を固定するグッズ。テレビや電子レンジなどの家電も大地震のときには“飛んでくる”ので注意が必要。



③ダンゴムシのポーズ
ママのお腹に子どもの頭を入れ、お尻を押さえて守る。



④防災キャンプ
非常食を食べる、避難所で寝るなどの避難所生活を疑似体験する防災イベント。あんふぁんねっとが毎年開催。

Profile



軽部 妙子 さん
Karube Taeko

子育て支援のNPO法人あんふぁんねっと代表。日本防災士機構認定の防災士の資格を持ち、子育て中の家族むけの防災キャンプや「防災減災ノート」(⑤)作りに取り組む他、自治会や学校での防災ワークショップの講師としても活躍。



⑤防災減災ノート
あんふぁんねっとが制作した、子育て中の家族むけの防災ハンドブック。コンパクトな防災の本があると、災害時にすぐに確認できるので便利。

南アルプス市の子育て支援

軽部 地震が起きたとき、死亡原因の多くは家具や家屋の倒壊による圧迫死です。寝室・キッチン・リビングなどの危険箇所を把握するとともに、家具や家電製品の転倒防止、ガラスの飛散防止グッズを活用(②)することをおすすめします。隠れる場所がない空間で地震に遭ったときのために覚えておいてほしいのが「ダンゴムシのポーズ」(③)。普段の遊びの中に取り入れて、いざというときに自然にできるようにしてもらいたいです。

防災を普段の生活の一部に

Q 防災イベントも行っていますね。

軽部 NPO 法人あんふぁんねっとの活動として、外出先で災害に遭ったことを想定して

の親子避難訓練、そして避難所に実際に宿泊する「防災キャンプ」(④)などを行っています。実際にビニール炊飯をしたり、寝袋で寝たりしながら、どんな防災グッズが必要なのか、子どもたちはどんな反応を示すのかを実感することができる。そんな手応えを感じているので、毎年の恒例行事になっています。

Q その他、防災対策についてアドバイスを。

軽部 がんばって“防災について考えよう”というのではなく、防災を普段の生活の一部にしていくのが理想だと思います。親子のスキンシップの一環としてダンゴムシのポーズをしたり、ときどき晩ご飯を防災食にしてみたり。ちょっと遊び心も取り入れながら、親子で取り組んでもらえたら嬉しいです。

やまなし子育て応援カード

「やまなし子育て応援カード」は、18歳未満の子どもがいる家庭、および妊婦さんを対象に山梨県が行っている子育て支援の取り組み。協賛店でこのカードを提示すると、様々なサービスを受けることができます。カードは子育て支援課、各支所窓口サービスセンターで受け取ることができます。受取時には免許証などの本人確認ができるもの（妊婦さんは母子健康手帳）が必要です。



南アルプス市内の子育て応援カード協賛店とそのサービス内容（平成31年3月時点）

- ① **タイヤ館南アルプス** | 桃園1735-1
→ 10%割引(特価・限定品除く)
- ② **ガスト山梨白根店** | 飯野3461-1
→ 第1日曜はキッズプレート各種(399~599円)を299円に割引
- ③ **ドラッグストア マツモトキヨシ** | 白根店・南アルプス桃園店
→ 会計時にマツキヨポイントを10P進呈
- ④ **ギフトプラザML** | 西南湖341-2
→ ポイント2倍、1万円以上購入でプレゼントあり、内祝1件あたり3000円以上購入で配送料無料
- ⑤ **フレッシュクリーニングすずや** | 甲西店・白根店
→ 20%割引
- ⑥ **眼鏡市場 南アルプス白根店** | 在家塚488-1
→ メガネ・コンタクト・サングラス全品5%割引(補聴器・販売備品は対象外)
- ⑦ **オギノ** | 峡西店・Carrot六科店
→ 毎週土曜はオギノグリーンスタンプポイントカード3倍サービス
- ⑧ **ドコモショップ南アルプス店** | 十五所685-3
→ 対象の携帯電話購入時に1000円割引
- ⑨ **山梨県民信用組合** | 白根支店・御勅使支店・櫛形支店
→ 個人ローン「バックアップ」(マイカー資金・教育資金・リフォーム資金)金利0.3%優遇
- ⑩ **甲府信用金庫** | 櫛形支店・白根支店
→ 個人ローン融資利率を0.3%優遇
- ⑪ **山梨中央銀行** | 小笠原支店・白根支店・甲西支店・八田支店
→ 教育ローン・マイカーローン・ライフサポートローンなど個人ローン金利の優遇

※最新の協賛店とサービス内容の詳細については山梨県の
ホームページ (www.yamanashi-kosodate.net) を参照

→お問い合わせ
南アルプス市子育て支援課
TEL.055-282-7293

保育所(園)・幼稚園

平成27年4月にスタートした「子ども・子育て新制度」によって、未就学児の保育・教育の枠組みが変わりました。保護者は1～3号の認定(下記脚注参照)を受けるための手続きを行い、所得に応じた保育料が決められます。詳細は子育て支援課または各園にお問い合わせください。



- ① 八田保育所 (公立) 榎原 558 | TEL.055-285-7600
- ② 巨摩保育所 (公立) 飯野 2912-4 | TEL.055-283-4251
- ③ 白根保育所 (公立) 飯野1 | TEL.055-285-3603
- ④ 百田保育所 (公立) 百々 2328 | TEL.055-285-3602
- ⑤ 白根東保育所 (公立) 西野 1394 | TEL.055-283-4271
- ⑥ 若草保育所 (公立) 藤田 35 | TEL.055-282-2730
- ⑦ マコト愛児園 (私立・認定こども園) 下今井 841-5 | TEL.055-282-1510
- ⑧ たちばな保育園 (私立) 鏡中條 700 | TEL.055-283-3246
- ⑨ 十日市場保育園 (私立・認定こども園) 十日市場 1911-5 | TEL.055-283-3608
- ⑩ 櫛形中央保育所 (公立) 小笠原 985-9 | TEL.055-282-2463
- ⑪ 櫛形北保育所 (公立) 桃園 165-8 | TEL.055-283-1262
- ⑫ 櫛形西保育所 (公立) 上市之瀬 724 | TEL.055-284-1602
- ⑬ 豊保育所 (公立) 吉田 804 | TEL.055-282-0189
- ⑭ さくらんぼ保育園 (私立) 桃園 337 | TEL.055-282-5154
- ⑮ 落合保育所 (公立) 落合 1128-3 | TEL.055-282-1079
- ⑯ 南湖保育所 (公立) 西南湖 738 | TEL.055-284-0409
- ⑰ 大明保育所 (公立) 鮎沢 1063-1 | TEL.055-282-1307
- ⑱ ポッポの家 (私立・認定こども園) 荊沢 175 | TEL.055-283-1162
- ⑲ バンビバイリンガル幼稚園 (私立) 徳永 1605 | TEL.055-280-0500
- ⑳ みだい幼稚園 (私立・認定こども園) 有野 4571 | TEL.055-285-2807
- ㉑ 小笠原幼稚園 (私立・認定こども園) 小笠原 210-1 | TEL.055-282-0700
- ㉒ にこにこキッズ保育園 (私立) 戸田 371-7 | TEL.055-267-9211
- ㉓ イノヴェ学園 (私立・小規模) 桃園 1361-10 | TEL.055-244-3833

※ 1号認定＝満3歳以上で教育を受ける子ども (幼稚園、認定こども園を利用)
2号認定＝満3歳以上で保育が必要な子ども (保育所・認定こども園を利用)
3号認定＝満3歳未満で保育が必要な子ども (保育所・認定こども園を利用)

→お問い合わせ
南アルプス市子育て支援課
TEL.055-282-7293

小学校と通学地域

小学校に入学する年の1月中に、該当するお子さんのいる家庭へ「就学通知書」「入学通知書」を郵送し、入学する学校や入学期日をお知らせしています。また1月から2月にかけて行われる入学説明会の日程等も各家庭にお知らせしています。



- ① 八田小学校 六科区・野牛島区・上高砂区・下高砂区・徳永区・榎原区
- ② 白根飯野小学校 飯野1～11区・飯野新田区・曲輪田新田区・築山区・オーチャードヒル区
- ③ 白根東小学校 在家塚1～5区・西野1～6区・今諏訪1～6区
- ④ 白根源小学校 有野南・有野東・有野北・有野西・有野御勅使・有野北新田・源西区・福祉村団地
- ⑤ 白根百田小学校 百々1～13区・上八田1～5区
- ⑥ 芦安小学校 芦安東区・芦安西区
- ⑦ 若草小学校 下今井区・上村区・下村区・寺部区・十日市場区・加賀美区
- ⑧ 若草南小学校 藤田区・浅原区
- ⑨ 小笠原小学校 小笠原区・山寺区
- ⑩ 櫛形北小学校 桃園区・曲輪田区・上宮地区（田頭を除く）
- ⑪ 櫛形西小学校 高尾区・平岡区・あやめが丘区・上市之瀬区・下市之瀬区・中野区・上野区・上宮地区（田頭のみ）
- ⑫ 豊小学校 上今井区・東吉田区・西吉田区・十五所区・沢登区
- ⑬ 落合小学校 東落合区・西落合区・西新居区・湯沢区・秋山区・塚原区・川上区・神の木区・芦原区
- ⑭ 大明小学校 下宮地区・江原区・鮎沢区・古市場区・荊沢区・大師区・清水区・宮沢区・戸田区
- ⑮ 南湖小学校 田島区・西南湖区・和泉区・東南湖区・天神区

※一部地域については、複数の学校を選択できる複合通学地域に指定されています。詳細は教育委員会学校教育課へお問い合わせください。

→お問い合わせ
南アルプス市教育委員会学校教育課
TEL.055-282-7777

放課後児童クラブ

放課後児童クラブは、南アルプス市内在住の小学生(4年生以上は空き状況により応相談)を放課後に保育するための施設です。保護者の就労等による事情で、家庭での保育が受けられない児童が利用することができます。利用時間は授業終了後から午後7時(夏・冬・春休みなどは午前8時～午後7時)。



- ① 八田児童クラブ 榎原 794-16 (八田児童館併設) | TEL.055-285-2333
- ② 白根源児童クラブ 有野 438 (白根源母子愛育会館内) | TEL.055-285-6795
- ③ 白根飯野児童クラブ 飯野 1972-1 (白根飯野小学校敷地内) | TEL.055-284-7141
- ④ 白根東児童クラブ 西野 2392-1 (白根東小学校隣) | TEL.055-284-6201
- ⑤ 白根百田児童クラブ 百々 2299-1 (白根百田小学校敷地内) | TEL.055-285-0291
- ⑥ 白根百田第二児童クラブ 百々 2299-1 (白根百田小学校敷地内) | TEL.055-285-8810
- ⑦ 芦安児童クラブ 芦安安通 327 (芦安交流促進センター芦安ふれあい館内) | TEL.070-3343-4332
- ⑧ 若草第一・第二児童クラブ 寺部 740 (若草小学校敷地内) | TEL.055-282-3900
- ⑨ 若草南児童クラブ 藤田 1512 (若草なかよし児童館併設) | TEL.055-283-5346
- ⑩ 櫛形小笠原児童クラブ 小笠原 572-9 (市民活動センター隣) | TEL.055-283-3264
- ⑪ 櫛形小笠原第二児童クラブ 小笠原 258-1 (青少年児童センター内) | TEL.055-282-7324
- ⑫ 櫛形北児童クラブ 桃園 167-1 (櫛形北地区農村環境改善センター内) | TEL.055-284-2540
- ⑬ 櫛形西児童クラブ 上市之瀬 725-7 (櫛形西地区農村環境改善センター内) | TEL.055-282-8124
- ⑭ 櫛形豊・豊第二児童クラブ 吉田 753-1 (働く婦人の家内) | TEL.055-284-3720
- ⑮ 甲西落合児童クラブ 落合 1092 (落合小学校敷地内) | TEL.055-282-1186
- ⑯ 甲西大明児童クラブ 清水 24 (甲西児童館内) | TEL.055-282-7356
- ⑰ 甲西南湖児童クラブ 西南湖 3067-1 (南湖小学校隣) | TEL.055-282-1165

→お問い合わせ
南アルプス市子育て支援課
TEL.055-282-7293

「いいね！南アルプスで子育て」



真菜美ママ・嘉紘パパ
しゅんま(3歳)・みお(7ヵ月)

秋田出身です。子育て応援講座・一時預かり・健康相談など、さまざまな子育て支援を利用して助けてもらい、知り合いもたくさんできました。パパと一緒に参加したマタニティスクールもよかったです。



由佳ママ・めい(2歳)

「今日もあんふあん行く！」と、子どもはあんふあんねっごが大好き。スタッフさんがいろいろな子育て情報に詳しいので、わからないことはここで聞けば大丈夫。母子にとっての「ホーム」みたいな場所です。



菜採ママ・大了パパ
あいこ(10ヵ月)

子育て支援課で教えていただいた産前産後ケアセンターを利用しました。わからないことだらけだった子育てのスタートが、スムーズにできたと思います。ホームスタートもいつか使ってみたいです。



英未ママ
りゅうのすけ(10ヵ月)

産前産後ケアセンターや産婦訪問など、産後間もない頃からの支援ありがたい。スーパーの店員さんが荷物を運んでくれるなど、地域全体で親を見守ってもらっているような安心感があります。



愛子ママ・ひなた(4歳)
はるた(2歳)・あらた(5ヵ月)

楡形のアヤメ、伊奈ヶ湖の紅葉、四季折々のフルーツ。子どもと一緒に豊かな自然を満喫して、私自身の楽しみも増えました。さまざまな体験が、子どもたちの感性を育てているように思います。



真里ママ・そなた(1歳)

御勅使南公園や楡形総合公園など、ベビーカーを押して気軽に行ける広い公園があるのが素敵です。ウォーキングしている人が声をかけてくれたりして、ここで子育てできてよかったと思います。

甲州弁「ずでダメ」に秘められた山梨県人の愛

『キャン・ユー・スピーク甲州弁?』を2009年に自費出版。山梨県内では当時、あの村上春樹の『1Q84』を超えるベストセラーとなり大いに反響を呼びました。五緒川津平太(ごっちょがわつっぺた)さん。“ふるさとの言葉”について、今何を思うのでしょうか？



Profile 五緒川 津平太



Goccyogawa Tsuppeta

南アルプス市(旧八田村)生まれ。東京での会社員生活を経て帰郷後、『月刊マイタウン』編集長を務める。2009年に『キャン・ユー・スピーク甲州弁?』を自費出版。現在、甲州弁関連の講演会やTV出演などで活躍中。

勤めていた会社が潰れ失業保険も切れた頃、『キャン・ユー・スピーク甲州弁?』を作りました。私にとっての甲州弁は「面白いネタ」であり、正直これを残したいという思いはあまりなかったです。本の中のコーナー「山梨おかつさん日記」は、都会育ちの妻が山梨で家事や育児をする中で遭遇した甲州弁エピソードを元に作ったもの。「よくでる息子」(できのいい息子)の意味はわからず、「しゃあだに」(頻繁に)を虫のダニと勘違いし、「けつをあかさない」(おもらししても黙っている)の表現に驚き…。確かに甲州弁ってすごい言葉です。

取材であちこちの図書館に行きますが、南アルプスの図書館はすばらしい！子どもたちは恵まれてますね。私は本好きな子でした。本といっても『少年マガジン』とかの少年誌、そしてSFや推理小説。そう、真面目な本で

はなく、笑えて、何の役にも立たなさそうな本が好きなんです。やってることは今も昔も変わりませんね(笑)。甲州弁紙芝居を作って、小学校でそれを読むこともあります。子どもたちは「ももっちい」(くすぐったい)はわかるけど、「けける」(のせる)はわからない。いずれ甲州弁は消えてゆくのでしょうか。

好きな甲州弁は「ずでダメ」。「全然ダメ」の意味ですが、裏には「あいつはダメな奴だけど、何とか面倒を見てやるか」というある種の愛がある。キツイ表現をするけど、実はちょっとやさしい。甲州弁って、山梨県人の特性をよく表しているように感じます。いろいろ言わずに全てを許す「いいさよー」も好きですね。近い将来に甲州弁がなくなってしまうとすれば、こうした微妙な感情や、そこにある独特の人間関係もなくなってしまうのかな。それはやっぱり少し寂しい気がします。